

第二回

京都の
木の家
づくり
表彰作品集

— ごあいさつ —

京都で育った木で家を作る。

住む人にとっても、地域の森にとっても、私たちを取り巻く環境にとっても心地よい事です。

京都府産木材利用推進協議会は、京都府が制定した京都府産木材認証制度に基づき、京都府知事により認定・登録された京都府産木材を供給する「取扱事業体」及び京都府産木材を使って建築に取り組む「緑の事業体」で組織する団体です。

協議会では、京都府産認証木材の推進に関する様々な事業に取り組んでいますが、令和2年度から、京都府産として認証された木材を使って建築された建物の表彰事業を行っています。

第2回目となる今回は、「環境にやさしい京都の木の家づくり支援事業」や「緑の木のまち拡大事業」など、京都府の交付金の交付対象となった建物等を対象に、応募推薦いただいた中から「木材利用」「建築技術」「京の木の文化」の面から厳正な審査を経て、優秀な建築14点を表彰することとなりました。

地域の森林で生産された木材を使って木造建築を進めることは、再生産可能な森林資源の循環利用に役立つとともに、地域の林業・木材産業が発展することにより、地域振興にもつながります。

さらに、近くの森林で育った木材を使うことは、はるばる遠くから運んでくることに比べ、輸送に伴って放出される二酸化炭素の量も少なく、地球温暖化を防ぐ役割も果たしているといえます。

これからも京都府産木材の利用に皆様のご理解とご協力をお願いします。

主催 京都府産木材利用推進協議会

共催 京都府

後援 一般社団法人京都府建築士会／京都府建築工業協同組合／京都府森林組合連合会／
一般社団法人京都府木材組合連合会

目次

ごあいさつ		1
総評 審査委員長 高田光雄		3
最優秀賞・知事賞		
KAN, MA (舞鶴市)	設計 横内敏人建築設計事務所 施工 株式会社大滝工務店	4
優秀賞		
石貼りのモダン住宅 (京都市上京区)	設計・施工 アーキテクチャーリンクライフ株式会社	6
宮津の住宅 (宮津市)	設計 一級建築士事務所森吉直剛アトリエ 施工 株式会社大村工務店	8
奨励賞		
御所東のコートハウス (京都市上京区)	設計・施工 アーキテクチャーリンクライフ株式会社	10
T様邸新築工事 (京都市上京区)	設計・施工 タクミ建設株式会社	11
Oさんの家 (京都市左京区)	設計 株式会社住暮楽 一級建築士事務所 施工 株式会社住暮楽	12
O邸新築工事 (京都市右京区)	設計・施工 株式会社竹内工務店	13
住みつなぐ家 (京都市西京区)	設計 半海宏一建築設計事務所 施工 株式会社小野建築設計	14
縁側のある平屋 (舞鶴市)	設計・施工 株式会社林田工務店	15
家事が楽しくなる！ママが笑顔になる木の家 (舞鶴市)	設計 塩見工務店二級建築士事務所 施工 有限会社塩見工務店	16
家事が楽！家族が快適に暮らせる木の家 (舞鶴市)	設計 塩見工務店二級建築士事務所 施工 有限会社塩見工務店	17
福来モデルハウス (舞鶴市)	設計・施工 ファイン.住宅株式会社	18
N様邸新築工事 (宇治市)	設計 株式会社木構造 施工 株式会社三原工務店	19
うぐいす台のんびり暮らしの家 (長岡京市)	設計・施工 株式会社小野建築設計	20

—— 京都の木の家づくり表彰事業・総評 ——

昨年度から、京都府産木材を使用した京都にふさわしい家づくりの優良事例を表彰し、広く紹介することにより、環境にやさしい京都府産木材の利用促進を図ることを目的として、「京都の木の家づくり表彰事業」が新たにスタートしている。この事業は、「環境にやさしい京都の木の家づくり支援事業」または「緑の木のまち拡大事業」の助成を受けて府内で建築された建物（リフォームを含む）を対象としたものであり、本年も府内全域から多数の応募をいただいた。

木材関係、建築関係などの専門家7名による審査委員会において、木材利用面、建築技術面、京の木の文化（地域環境と生活文化）の三つの側面からなる審査基準に従って議論を進めた。木材関係の委員からは、京都府産木材の使用量、使い方（適材適所）、見せ方などについて、建築関係の委員からは、木の文化の解釈、内部空間と外部空間との関係、建築関係法令遵守への取り組み姿勢、技術的合理性、建築デザインのオリジナリティなどについて、多様な意見が出された。それらをふまえ、慎重に審議を重ねた結果、最優秀賞（京都府知事賞）1点、優秀賞2点、奨励賞11点を選定した。

最優秀賞に選定された作品は、舞鶴市に立地する木造のカフェ、ショールーム、オフィスの複合施設で、京都府産木材を生かして丁寧に設計され、登り梁を用いた開放感のある空間を実現し、居心地の良い建築のモデルとして高く評価された。優秀賞に選定された作品の一つは、京都市上京区に立地し、構造材として京都府産木材をふんだんに使用する一方で、内装に石貼りの壁面を配したリビングを持ち、材料、設備、デザインなどが総合的に考慮された良質な住宅である。もう一つの作品は、宮津市の平屋住宅で、積雪を考慮した構造に支えられた大屋根と大きな開口を持つのびやかなデザインが評価された。奨励賞に選定された11件の作品は、いずれも、多様な地域において、地域特性に応じて設計、施工された木造住宅であり、京都府産木材の使い方や設計上の工夫などがそれぞれ評価された。

今後、京都府産木材をより一層上手く使いこなし、地域環境や生活文化など、京の木の文化を継承発展させる優れた建築が府内全域に浸透していくことを期待したい。

審査委員長 高田光雄

審査委員

委員長 高田光雄（京都美術工芸大学教授・京都大学名誉教授 / 一般社団法人京都府建築士会会長）
委員 木村忠紀（京都府建築工業協同組合理事長）
西田教子（一般社団法人京都府建築士会副会長）
福本裕之（京都府農林水産部林業振興課参事）
森井一彦（京都府森林組合連合会代表理事専務）
愛甲政利（一般社団法人京都府木材組合連合会専務理事）
堀井誠史（京都府産木材利用推進協議会会長）



KAN, MA



舞鶴市
Maizuru City

京都府産木材使用量
24.2186㎡

「地域の暮らしの質を向上させるような建築を」という思いで、このKAN, MAを企画しました。

半分はカフェ、半分は事務所兼ショールームとなっています。カフェの内部は登り梁を用いダイナミックな開放感を演出し、大きな開口を設け庭との一体感をもたせた設計となっています。

X Y方向からの梁、登り梁、柱が集まる接合部の納まりは大変複雑だったため、実物大のモックアップを事前に作成し検討しました。

柱梁の主要構造材、天井床の仕上げ材とも

京都府産を用い、木の温もりに包まれた空間となっています。

最近では木材を現した建築物が少ない中で、来店された方からは木の良い香りがすると好評を得ています。人間は本能的に木材の香りに安心感を感じるのではないのでしょうか。

多くのお客様に愛され、「KAN, MAがあって良かった」という感想をお聞きするたび、地域の暮らしの質の向上に少しでも寄与できたのではないかと感じます。

[設計]
横内敏人建築設計事務所

京都府京都市左京区若王子町 68

[施工]
株式会社大滝工務店

京都府舞鶴市南田辺 126-5





石貼りの モダン住宅



京都市
Kyoto City

京都府産木材使用量
37.9290㎡

アーキテクチャーリンクライフは代表の篠田を筆頭に、デザイン、設計、施工から現場監理、アフターメンテナンスに至るまで、妥協のない一貫体制で家づくりを行っています。

地産地消の精神から、住宅の構造材にはふんだんに京都府産の芯持ち檜材を用い、家具、建具に至るまで完全オーダーメイドの住宅を建築しています。

T邸は、海外生活の長かったオーナーのご希望で、リビング壁面に石材を用い、落ち着いた感のあるシックな空間に仕上げました。

作り付けのキャビネットには、バイオエタ

ノール暖炉が仕込んであり、扉は落ち着いたマット仕上げにしました。床には無垢ナラフローリング、家具や建具はタモを用いました。壁には調湿効果の高い珪藻土を、熟練の左官職人が丁寧に仕上げました。客をもてなす和室は、全て上質素材で設え、和風に偏りすぎない遊び心あるデザインを取り入れました。

京都府産材をふんだんに使っていますが、ログハウスのような野暮ったい仕上がりにならないように、デザインの段階からミリ単位で検討しています。また、それを造りあげる職人技が光る上質な空間に仕上がりました。

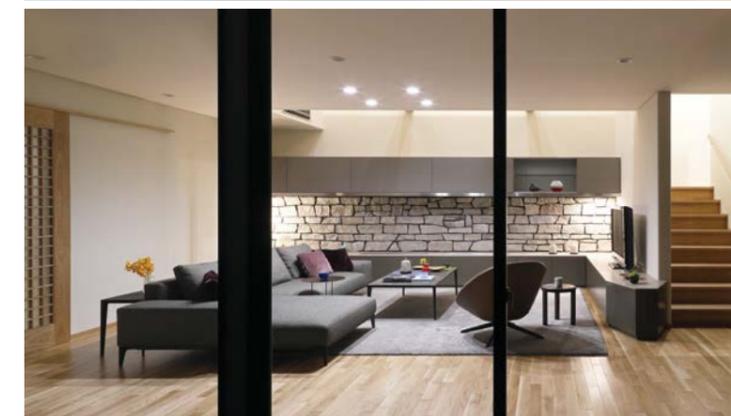
[設計・施工]

アーキテクチャーリンクライフ株式会社

京都府京都市中京区下本能寺前町 522 本能寺会館 1 階*

※ 本能寺会館建替え工事のため仮店舗営業中

(仮店舗) 京都府京都市北区上賀茂岩ヶ垣内町 98-2 戸田ビル 4 階





宮津の住宅



宮津市
Miyazu City

京都府産木材使用量
16.992m³

宮津の雄大な自然と呼应した、大らかな平屋の住宅です。施主の要望は、木の質感を生かした住まいとすることと、庭側に大開口と愛犬と遊べる広い庭を確保することでした。

建物は、南の山に向かって開く大屋根で覆われたLDKを中心に、東西に両手を伸ばしたようなコの字型の平面形状としています。

大屋根の軒は2m出ていますが、室内を構成する登り梁とは別の列に、宮津の積雪に耐えられる登り梁を、一間分室内側から持ち出して実現し、全体として材寸と長さを押さえながら大屋根を構成しています。

軒先は梁せいを絞り、他の屋根とほぼ同寸の水平ラインが軽快な外観をつくっています。

コの字型の平面により、各部屋から見る方向が変わり、背景の山と、杉板の外壁と屋根形状が重なった景色も変わる事で、平屋でありながら多様な経験ができる住まいとなっています。

主な構造材は京都府産のヒノキを使用し、地域に根ざした家づくりを目指しました。

繁田諭 撮影

[設計]
一級建築士事務所 森吉直剛アトリエ

東京都中央区銀座 1-3-3 東亜ビル 10 階

[施工]
株式会社大村工務店

京都府宮津市宇宮村 1123





御所東の コートハウス

京都府産木材使用量
32.9738 m³

[設計・施工]

アーキテクチャーリンク
ライフ株式会社

京都府京都市中京区下本能寺前町
522 本能寺会館1階*

* 本能寺会館建替え工事のため
仮店舗営業中
(仮店舗) 京都府京都市北区
上賀茂岩ヶ垣内町 98-2 戸田ビル4階

外から見ると窓はほとんどなく、しっとりとした静かなたたずまいのM邸。
ところが2階のリビングダイニングは、中庭に面して大きな窓があり、まるで外とつながっているような解放感です。植栽の緑が眺められ、広いデッキに出ることもできて、街中にいながらリゾート気分が味わえます。
「住宅の立ち並ぶ敷地なので、明るい家は無理だろうと思っていました」とMさんの妻。
ところがプランナーである弊社代表篠田は、「光は立体的に取り込めますよ」とサラリ。その言葉どおり、中庭に面した窓や天井の近くの高窓、天窓など、外からの視

線を遮断しながら光をたっぷり取り入れるプランにしました。
京北産の芯持ち檜を構造材にふんだんに使い、室内にあしらった無垢材や、珪藻土、レンガタイルなど自然素材のハーモニーが素敵に仕上がりました。
その中で差し色効果を発揮しているのが、からし色のオーダーキッチンです。サンプルを見たときは少し不安だったというMさんですが、思い切って決断。大正解の結果になりました。
程よい距離感のお子さん達の勉強スペースやキッチン外のサービスバルコニーなど、機能性にも配慮。将来にわたって快適に暮らせる住まいへと仕上がりました。

T様邸 新築工事

京都府産木材使用量
21.3296 m³

[設計・施工]

タクミ建設株式会社
京都府京都市山科区勤修寺東栗栖野
町18番地4

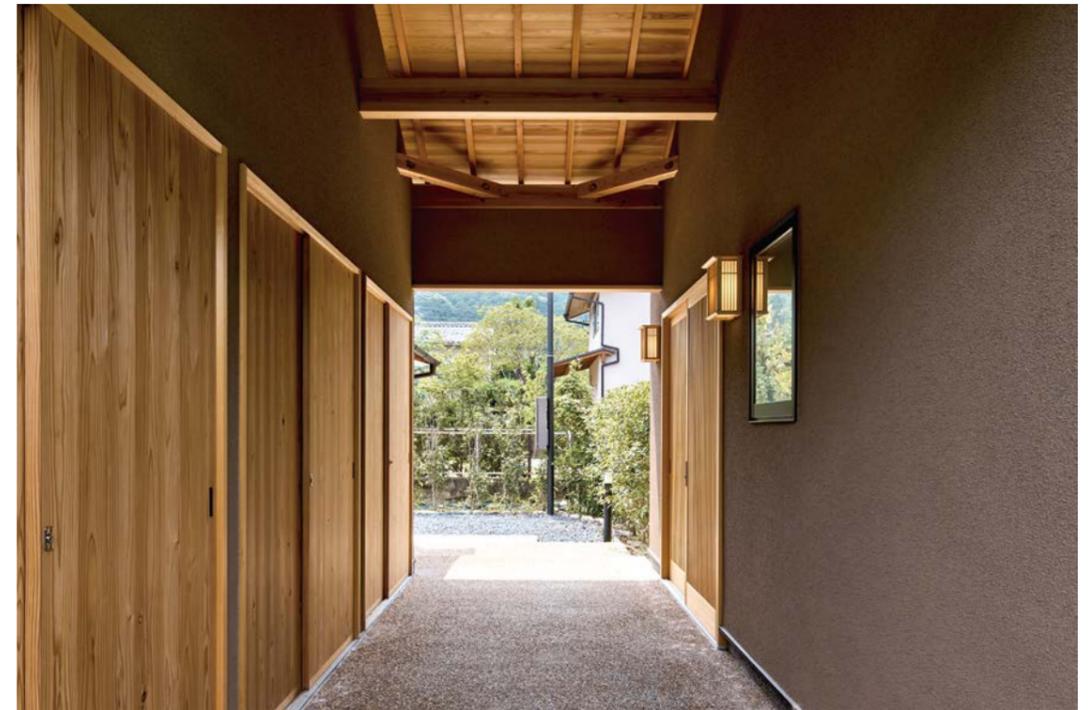
①木材利用面
構造・外壁・枠材・建具・化粧材(床・天井・壁・柱・棚・他ほぼ全部)
②建築技術面
外部は、象嵌縦格子引き戸・シャッターBOXの目隠し化粧細工箱で始まり、外壁は、鎧張り・細工出格子・縦格子・本漆虫籠窓等、古来の技術を最大限利用しております。
内部は、真壁造りで化粧柱を見せ、千鳥柄の格天井・竿天井・京都の手焼き焼杉天井・北山杉八角名栗柱の手摺・浮造りの掘り炬燵・造作建具(舞良戸・格子戸・雪見障子)・組子細工・下駄箱・テーブル・AV収納等、ほぼ全体を造作技術で仕上

げております。
③京の木の文化(地域環境と生活文化)
新築でも、京町家の外観を生かす事により、古来の地域環境との調和ができ、京都らしい生活文化を今後に残せると思っております。
④施主(居住者)の建築に対する思い
寒くなく、最新の断熱環境の備わった京町家にして欲しいと、希望されておりましたので、現在もとても満足され喜んでおります。

奨励賞



奨励賞



スペースクリップ 岡田大次郎 撮影



〇さんの家

京都府産木材使用量
6.73 m³

[設計]

株式会社住暮楽
一級建築士事務所
京都府京都市北区西賀茂柿木町 25

[施工]

株式会社住暮楽
京都府京都市北区西賀茂柿木町 25

この家では、1階の床板に京都府産の杉材を使用しています。踏みごたえのある4cmの厚みとし、また表面には浮造り加工を施しています。

浮造りとは、板の表面を特殊なワイヤーブラシでこすることで木目の内、やわらかい夏目の部分を削り取り、硬い冬目を浮き出させる伝統的な大工の技法です。

かつては和室の天井板などに用いられた飾りの技法ですが、当社は板材に自然な凹凸を設けられることに着目し、床板や階段板に浮造り加工を施すことでノンスリッパの役割を持たせています。

杉自体のやわらかさ、温かさに加えて滑りにくい性質をもつ杉の浮造り板は高齢者やペットと暮らす家の床材として最適解の一つであると考えます。

また、この家ではよく手に触れる部分や水のかかりやすい部分を杉板張りとしています。

壁材などの保護が主目的ではありませんが、その一方で経年による変化を楽しめる点は木材の優れた長所の一つであり、踏襲すべき日本の家の特徴です。

〇邸新築工事

京都府産木材使用量
25.15 m³

[設計・施工]

株式会社竹内工務店
京都府京都市右京区嵯峨駅迎堂門前
瀬戸川町 4-7

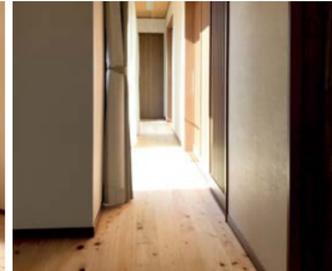
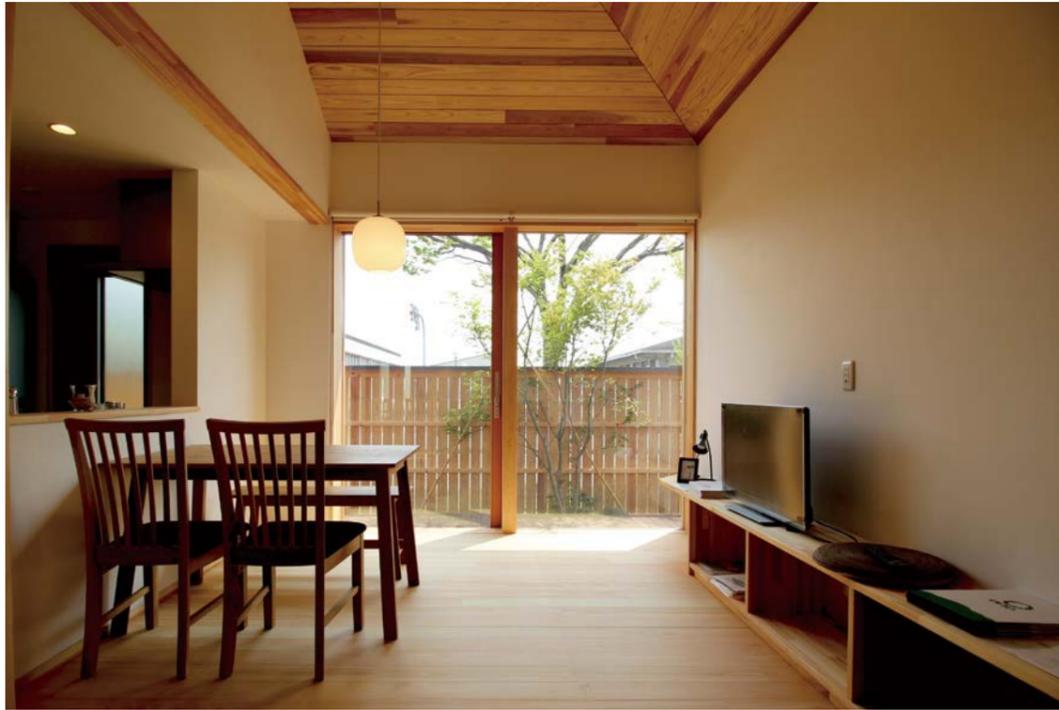
主要構造材と軒裏、室内の内装材の一部に京都府産の杉・桧を使用しています。和室には床の間を設け床柱には北山出紋丸太を使っています。またご家族が集われるリビングダイニングの化粧柱も北山磨丸太を使用しています。二方からの梁を支えるためこの丸太の仕口の加工は大工による手加工で行いました。また建具枠・窓枠も京都府産の杉・桧をカンナ仕上げとしています。

小倉山の麓で昔ながらの風景が残りました四季折々の景色を楽しみながら無垢材の経年変化を内からも外からも楽しんでいただけるような設計としました。奥嵯峨の観光地近くの為シーズンには多くの人々が前面の道路を歩かれています。そのため目隠しとして建物の前面に焼杉板を貼った塀を建てました。その壁を利用して玄関ポーチに通り土間を設けました。

外部で雨がかりの多い所は水に強い加工がされたものを使い、雨がつかからないようなところは素地の木をそのまま使っております。建物の内にも外にも無垢材を使用するには、耐久性をどう保てるかなどが課題となります。適材適所にそれぞれに合った木の使い方が出来る事が木の家づくりにとって重要な事の一つだと考えます。またそういった弊社の思いにご共感下さったお施主様だからこそこちらのお住まいの完成につながりました。

風致1種の外観等の規制が大変厳しい場所ではありますが昔から住み継がれておられるお施主様のご希望の一つにこの地にとけ込む建物にしてほしいというご要望がありました。

外壁は左官仕上げで屋根はいぶし銀の日本瓦、昔ながらの仕上げに無垢の桧・杉を合わせたお住まいになりました。



住みつなぐ家

京都府産木材使用量
12.2161 m³

[設計]

半海宏一
建築設計事務所
京都府京都市中京区梅忠町 28
M&I ビル 4 階

[施工]

株式会社小野建築設計
京都府京都市西京区大原野上里
南ノ町 10

① 木材利用面

外壁は京都府産の杉の板張りとし、深い玄関庇を受ける京都府産の梁と檜の2本の柱が出迎えます。室内は檜フローリング、京都府産の杉の羽目板の勾配天井で開放的かつ、木の温かみを感じられる空間としました。ロフトも京都府産杉の床にし、やわらかな肌触りを堪能できるようにしました。

② 建築技術面

将来、改修や増築などが出来るような構造計画としました。軒は構造の垂木を見せ、日本の原風景を想い起こさせる外観としま

した。LDKには北山杉の大黒柱が空間を支え、ロフトでも構造体を見せる計画としました。

③ 京の木の文化（地域環境と生活文化）

外観は高さを抑え西山の景観に配慮しました。小さな庭を囲む適度な高さの木塀がプライバシーを確保しつつ、檜並木を楽しめます。

④ 施主の建築に対する思いなど

老夫婦の為の小さな平屋は、将来孫たちに住みつないでもらうため、可変性を想定したシンプルな平面を採用しました。

縁側のある平屋

京都府産木材使用量
9.2474 m³

[設計・施工]

株式会社林田工務店
京都府舞鶴市宇倉谷小字北ノ坪 1743

構造材、下地材、合板、内装材になるべく京都府産木材を使っています。

縁側のある平屋が建てたいというお客様の当初の夢をかなえるため、打合せを繰り返し完成しました。

床のフローリング部は全て京都府産の桧フローリングを使用し、居室部分は天井と壁を漆喰塗りとしたことで自然素材が呼吸する落ち着ける居室となりました。

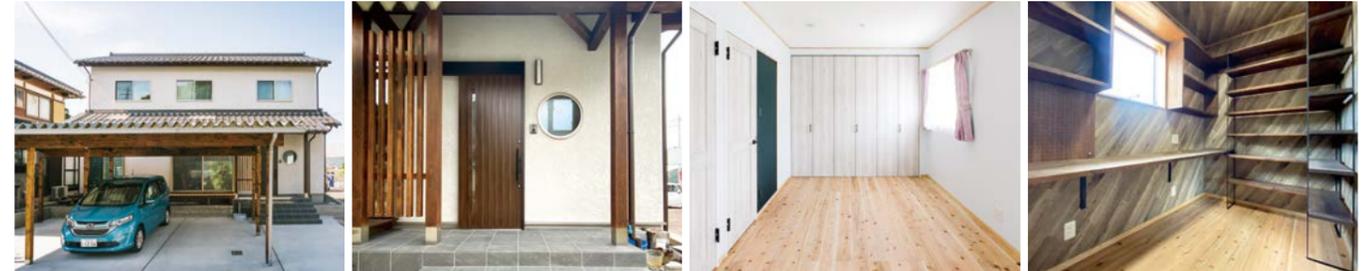
またLDKは天井に梁を見せ天井高を高くとり、縁側を通して縦スリットの建具から入る光が桧フローリングに映えます。

寝室からは縁側を通して外部テラスに出られ外部の空気を感じられます。

奨励賞



奨励賞



家事が楽しくなる! ママが笑顔になる 木の家

京都府産木材使用量
25.1925 m³

[設計]

塩見工務店
二級建築士事務所
京都府舞鶴市南田辺 90-2

[施工]

有限会社塩見工務店
京都府舞鶴市南田辺 90-2

地元で育った木を使って家づくりすることが、地球環境にとっても木にとっても家にとってもそこに暮らすお客様にとっても一番良いという思いのもと、構造材・床・軒裏・天井・下地材に至るまで建物の95%を京都府産の木材を使用しています。適材適所に木材を選び・温もり調湿性・経年変化など木の魅力・大工の技術を活かし長期的に安心・快適に暮らせる家づくりにしました。外観は周辺の景観を損わないようメンテナンス性に優れた『そとん壁』を使用しました。

また内装は適材適所の収納計画・回遊性のある家事動線を考えて設計しました。そして、家族が集まり笑顔で過ごせるリビングにしました。

杉の床に寝ころび天井を見上げると木が日々の疲れを癒してくれます。家事動線を縮めることでお客様と触れ合う時間が取れ家族が仲良く暮らせます。

これからの時代には大切な要素だと思います。

家事が楽! 家族が快適に 暮らせる木の家

京都府産木材使用量
27.1293 m³

[設計]

塩見工務店
二級建築士事務所
京都府舞鶴市南田辺 90-2

[施工]

有限会社塩見工務店
京都府舞鶴市南田辺 90-2

構造材・内装材・下地材には、京都府産の木材を積極的に使用しました。

木の温もりを五感で感じながらそこに住まう人が健康で末永く暮らせる『家は居心地』をコンセプトに設計しました。

外観は周辺の景観を損なわないようメンテナンス性に優れた『そとん壁』で仕上げ、軒天に京都府産の杉板を張りました。

内装はお客様のライフスタイルに合わせ家事動線・支度動線を考え設計しました。

家族が笑顔で快適に過ごせるようリビングの天井に杉板を張り、リビングに面して小上り畳&ワークスペースを配置しました。

家族が集まり、一緒に過ごす快適な空間をつくることは、これからの時代に大切な要素だと考えています。



福来 モデルハウス

京都府産木材使用量
27.438 m³

[設計・施工]

ファイン.住宅株式会社
京都府舞鶴市字福来 112 番地

2階は無垢の床板を使用し、木の温もりを感じられ、リビングは天井の高いダイナミックな吹抜けで、家全体を優しく包みこむ心地よい暖かさの暖炉があり、開放的でゆったりとくつろげる空間に。

光あふれる明るい玄関に隣接したおしゃれで落ち着きのある大きな土間スペースや、まるで高級ホテルのようなシックで落ち着きのある主寝室、家族それぞれの趣味や作業が思いきり出来るフリースペースがあり、内装やニッチ等一つ一つ細部までこだわりぬいたモデルハウスです。

木材は構造材・内装材・下地材に京都府産を積極的に使用しました。

N様邸 新築工事

京都府産木材使用量
9.0452 m³

[設計]

株式会社木構造
京都府京都市伏見区羽東師志水町
133-3

[施工]

株式会社三原工務店
京都府京都市伏見区深草新門丈町
164-1

ハイブリッドソーラーハウス
～太陽の恵みと暮らすあたたかい家～

「自然素材へのこだわり」

京都府産木材の桧、杉を中心に家を建てました。香りの良さはなによりお客様への説得力があります。

桧材は殺菌効果があり、杉材は防菌効果があり、虫を寄せ付けません。壁は左官漆喰塗で仕上げました。

自然素材で造った家は香りが違います。人は人生の大部分を建物内で過ごすため、室内の空気質を高める事が重要です。

「家の中はいつも良い季節」

太陽熱利用をしています。冬は太陽熱で床暖房と給湯、年中使用できます。1階全体を床暖房します。

トイレ、洗面所、キッチン、リビング、和室、洋室。1階の暖房で、吹抜けを通して2階も暖房できます。

温水式の蓄熱床暖房なので高齢を迎えても安全安心して暮らせる家で、温度差のない住まいです。



うぐいす台 のんびり 暮らしの家

京都府産木材使用量
5.3107 m³

[設計・施工]

株式会社小野建築設計
京都府京都市西京区大原野上里
南ノ町 10

① 木材利用面

薪ストーブを設け、端材や古材を薪として活用する火と共にある生活を提案しました。1階床は檜床、2階には京都府産杉床を貼り、木の温かみや木の香りを楽しめる癒しの空間としました。

② 建築技術面

北山杉の大黒柱と京都府産材の梁や柱を構造として見せる空間としました。土間上の木製スリット床と2階手摺で空気の循環や風と光の取り込みを遮らないようにしました。

③ 京の木の文化（地域環境と生活文化）

田園風景に溶け込むよう、建具廻りと軒天破風には京都府産の杉材を使用し、木の表情を活かした外観としました。京都府産材を貼った深い軒は夏の強い日射をコントロールし、格子戸から風を通し京都の暑い夏を過ごしやすくしました。

④ 施主（居住者）の建築に対する思い

窓から臨む西山を愛でながら、自然の移り変わりを堪能し、木の生み出す穏やかさと火の暖かさと共にあるのんびり暮らしの家を作りました。



スペースクリップ 岡田大次郎 撮影



主催 京都府産木材利用推進協議会

共催 京都府

後援 一般社団法人京都府建築士会

京都府建築工業協同組合

京都府森林組合連合会

一般社団法人京都府木材組合連合会